

背景

- ▶ 森林面積95% 豊かな森林資源を持ち、木曽ひのき産地として木材産業を支えてきた。
- ▶ 『木工の東大』上松技術専門校があり、毎年全国から木工を志す若者が集まる。
(40人/年)

現状の課題

- ▶ 木材需要の低下や低賃金化により担い手が不足し、整備されない森が増加。
- ▶ 上松技術専門校を卒業した若者が、町に定住できない。(就職先がない)

事業の目的

< CO2排出量削減 > < 森を守る > < 持続可能な町 >

- ▶ 地域材を活用した『持続可能な』『脱炭素の』森づくり
- ▶ 木工起業の場を創出し、若者の移住定住を促進する

これまでの取り組み

2018年：地域おこし協力隊制度を活用し、上松技術専門校の卒業生2名で木工部を設立。
2019年：ふるさと納税の返礼品にて協力隊の木工製品を運用・PRをスタート。
町の商店街の空き店舗をリノベーションし、家具ギャラリーを整備する。
2021年：累計9名の技専校OBを協力隊として受け入れ。木工による地域おこしを継続中。

↓リノベーションした協力隊の工房



これまでの取り組み

↓地域おこし協力隊として木工製作



↑空き店舗を家具ギャラリーに



↑地域材を活用した商品開発

事業内容

持続可能な森の

6次産業化

の仕組み化をします

1次産業

育て・収穫する

(林業)

2次産業(上流)

木を貯める

(製材業)

2次産業(下流)

家具を作る

(家具製造)

3次産業

地域内外へ販売する

地域材を
地域内で
製品化して
炭素固定



脱炭素!

事業内容 ②

①地産地消の森づくりプロジェクト

- ・地域広葉樹製材所の整備
- ・人材育成（自伐型林業、製材業）
- ・間伐材、林地残材の活用



②木エスタートアップ工房プロジェクト

- ・木工起業で若者の挑戦を創出
- ・「木工×〇〇」な働き方実現（コワーキング型シェア工房による複業起業）
- ・地域材を活用した新たな特産開発



③木エファブラボ工房プロジェクト

- ・デジタルなものづくり拠点
3Dプリンター、レーザーカッター、NCミリングマシンetc.
- ・子供の創造性を育む場づくり（10年、20年後のものづくり人材育成）
- ・地域間連携した教育体制（企業や大学生インターンとの連携）



④インキュベーション拠点プロジェクト

- ・アイデア、知識、技術の集積
- ・大学生インターン事業
- ・企業のサテライトオフィス機能
- ・業界、地域を越境した繋がり創出
- ・町内での新規事業を生み出す



※上記事業は状況により寄附いただいた企業様へご相談の上、追加・変更となる場合があります。

得られる 成果等

脱炭素

木曾の森を守り
森の若返りを実現して
CO2吸収効果を保つ

若者の雇用創出

地方で挑戦する
若者の移住定住
雇用創出を実現

子供の創造性創出

未来のものづくりを担う
地域の子供たちの
創造性を育てる

つながり創出

木工・ものづくりを軸に
人が集まり多様性のある
つながりを生み出す

新規事業創出

多様な関係性から
イノベーションを生み
新たな事業を創り出す

企業の みなさまに 求めるもの

【企業の皆さまにお願いしたいこと】

- ▶ **企業版ふるさと納税への寄附協力**（資金提供）
- ▶ 町内資源を活用した新規事業の連携、事業ご提案

寄附をする メリット

【企業の皆さまのメリット】

R4年度制作予定

- ▶ **上松町特設Webページでのご紹介**（企業インタビュー記事掲載）
- ▶ **脱炭素事業への参画、貢献のPR**
- ▶ **新規事業展開へのつながり**（インキュベーション拠点への参画）